



資本主義下の女性抑圧の  
起原としての魔女狩り

## キャリバンと魔女

資本主義に抗する

女性の身体

シルヴィア・フェデリーチ  
著

2017年2月発行／四六版／  
528頁／4600円／以文社

資本主義の勃興以来、女性は国家からも男性からも圧倒的な暴力に曝され続けている。著者はそのような状況の分析のカギを資本主義の出現期における魔女狩りに見いだす。そしてマルクスの本源的蓄積論とフーコーの身体論を批判的に継承しつつ、フェミニズムの見地から魔女狩りというジェノサイド的攻撃が資本主義の勃興と発展において果たした役割を明らかにし、抵抗の契機を探る。「女性の活躍」が推進され、また介護や保育などの再生産領域の市場化が進むなか、職場や家庭での女性への抑圧は改善するどころか、むしろ悪化している。この現状にどう取り組んでいくべきか、本書は大きな手がかりになるだろう。